

くめじま

議会だより

2011.9.1

No.37



6月定例会

鳥島射爆撃場の早期返還を	2
6月議会で決まったこと	4
町政を問う 一般質問	5
議会のうごき	11
被災地視察報告	12

早期返還を！

■鳥島(射爆撃場)■
久米島の北約28kmにある琉球石灰岩でできた砂地の島。軍事訓練によって無数のクレーターができています。



久米島の北、約28キロメートルに位置する鳥島。戦後より米軍の軍事占領地として使用され65年。その間、多くの事件事故が発生した。平成7年から平成8年の劣化ウラン弾誤射事故、平成20年の海兵隊ハリヤー機の250キロ爆弾投下事故、浮き魚礁(パヤオ)での操業中の漁船への米軍機による操業妨害など、町民にとつて大きな負担になってきた。漁業・観光など経済活動が制限されるなど、経済損失も多くなものがあることなどから、再三にわたり、同射爆撃場の早期返還を求めてきた。

硫黄島島に移転？

5月25日(水)「防衛省は、鳥島射爆撃場で行われている米軍の実弾射撃訓練について、硫黄島島へ移転することを検討している」という旨の記事が新聞に掲載された。5月23日(月)の沖縄政策協議会の基地負担軽減部



全員協議会 (5月25日)

会で提案があつたという。久米島には大きな衝撃が走つた。

全会一致で抗議決議

久米島町議会では、新聞報道があつた5月25日(水)に急きよ全員協議会を開き抗議決議をすることを話し合つた。翌26日(木)に臨時議会で「鳥島射爆撃場の硫黄島島移転案に対する抗議決議案」を全会一致で可決した。

沖縄防衛局へ

山里議長、上里副議長、宮田総務文教・民生委員長、山城建設・経済委員

鳥島射爆撃場に関する状況

昭和20年 米軍の軍事占領の継続として使用開始
(旧琉球射爆撃場)

昭和26年10月17日 射爆撃場として使用

昭和47年5月15日 琉球射爆撃場が鳥島射爆撃場として提供施設・区域となる。

昭和50年9月19日 管制施設として、建物約3100㎡(航空自衛隊久米島分屯基地内)を追加提供(地位協定第2条第4項(b)提供)。

昭和53年6月30日 米軍が一時使用していた航空自衛隊那覇基地久米島分屯基地内の花咲港部分800㎡を返還

昭和57年9月20日 管制施設として、建物約430㎡(航空自衛隊那覇基地久米島分屯基地内施設)を追加提供(地位協定第2条第4項(b)提供、年4週間使用)

昭和61年4月3日 使用条件に、追加提供建物の使用期間について新たに「昭和61年12月31日までの間の必要な一定の期間」を追加

昭和62年7月27日 同施設・区域周辺(鳥島北方)を航行中のマレーシア船籍貨物船ポメック

ス・サガ号が、夜間訓練中の米海軍機FA-18戦闘攻撃機の投下した模擬弾MLC-76を被爆、操舵室にいた甲板員が重傷を負う事故が発生。

平成7年9月1日 嘉手納基地を発進した岩国基地第542海兵航空攻撃中隊所属のAV-8Bハリヤー戦闘機1機が空対地模擬爆弾訓練

鳥島(射爆場)の



■硫黄鳥島■

徳之島の西方約60kmに位置する沖縄唯一の活火山の島。1959年に噴火のおそれがあるとして、島民が久米島へ移住。



沖縄防衛局において抗議行動（5月27日）

長は平良町長とともに、5月27日（金）沖縄防衛局を訪問。真部局長に対して抗議決議文を直接手渡し、今回の移転案について強く抗議した。また、県庁を訪問し、當銘基地防災統括監らと意見交換を行った。

抗議行動において、防衛省は「射爆撃場の返還要請に応えることができないか」ということを模索しているところで、硫黄鳥島に移転するという具体的な検討をしている段

階ではない」ということであった。

宝の島、硫黄鳥島

琉球王朝時代から硫黄の産地として重要な島であった硫黄鳥島。現在は無人島となっているが、沖縄県で唯一の活火山の島で、温泉が湧き出ていることや、固有の植物群落があり、自然環境に恵まれている。また、島には史跡や墓地が残っており、久米島町にとっては宝の島である。

中、鳥島付近に墜落。

平成7年9月5日 AV-8Bハリヤー攻撃機の墜落事故に対する意見書採択

平成9年2月10日 平成7年12月から翌年1月に

かけて3回にわたり、鳥島射爆撃場において訓練中の海兵隊AV-8Bハリヤー機が、合計1520発の劣化ウランを含有する徹甲焼夷弾を誤って使用し発射した事実が判明。

平成9年2月17日 米軍AV-8Bハリヤー攻撃機による劣化ウラン弾発射に関する意見書採

択

平成9年2月24日 鳥島射爆撃場における劣化ウ

ラン弾発射に抗議する島民総決起大会

平成9年2月24日 鳥島射爆撃場における劣化ウ

ラン弾発射事件に対する抗議決議（提出者…

鳥島射爆撃場における劣化ウラン弾発射事件

に抗議する久米島島民総決起大会）

平成14年8月8日 米軍ヘリによる操業妨害に關

する要請決議

平成15年9月29日 鳥島での自衛隊のミサイル発

射試験実施に反対する決議

平成17年5月18日 米軍ヘリ不時着に対する抗議

決議

平成18年3月14日 鳥島射爆撃場及び久米島射爆

撃場の返還要請決議

平成20年4月14日 米軍機による爆弾誤投下に対

する抗議決議・意見書採択

平成20年11月6日 鳥島射爆撃場及び久米島射爆

撃場の返還について（要請）

平成23年第4回定例会は、6月15日（水）から16日（木）の2日間の会期で開かれました。

この定例会では、平成23年度一般会計の補正予算など11議案を審議し、すべて可決しました。

15日の一般質問では8人が登壇し、活発な審議が行われました。

6月定例会で決まったこと

平成23年度補正予算

- 平成23年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
571万円増額 総額2億6337万円
※全員賛成で可決

- 平成23年度久米島町一般会計補正予算（第1号）
1698万円増額 総額68億8223万円

【補正の主な使いみち】

◎庁舎警備	177万円
◎総合型GISサーバ更新委託費	175万円
◎久米島一周線道路光ファイバーケーブル移設費	138万円
◎前村幸秀人材育成基金創設記念碑建立事業	62万円
◎沖縄県介護基盤緊急整備等特別対策事業（火災警報機の設置事業）	374万円
◎備品購入費（離乳食フードモデル）	35万円
◎甘しょ種苗緊急対策モデル事業	491万円
◎戦略作物拡大関連基盤緊急整備事業	500万円
◎久米島町平張り施設設置工事	372万円
◎2012ミスユニバースジャパン沖縄大会 久米島キャンプ負担金	210万円

※全員賛成

専決処分

- 平成22年度久米島町一般会計補正予算（第8号）
7,931万円増額 総額79億4611万円
※賛成多数で承認

補正予算についての主な質疑

下水道事業特別会計補正予算

問 下水道全体計画見直し業務とあるが、久米島町全体を見直すのか。

答 今回の予算は久米島地区の計画。

問 久米島地区とは嘉儀山地区となりますが、山城も含まれているのか。

答 山城地区はすでに整備されているので、今回は儀間と嘉手苅の2集落になる。

一般会計補正予算

問 平張り施設はどこに作り、面積は？

- 久米島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
※全員賛成で承認
 - 久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例
※全員賛成で承認
 - 久米島町税条例の一部を改正する条例
※全員賛成で承認
- 地方税法改正に伴う改正
- 平成23年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
※全員賛成で承認

協議議案

可決

- 沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の制定に関する協議について
消防通信システムのデジタル化に移行にあたり、運営協議会を設置するための規約の制定
※全員賛成で可決
- 沖縄県町村土地開発公社定款の一部変更について議会の議決を求める件について
公益法人制度改革に伴う民法の一部改正に伴う条文の整理
※全員賛成で可決

委員の任命

- 久米島町固定資産評価委員会委員の選任
吉永安克氏 ※全員賛成で同意
- 教育委員会委員の任命
山元朝弥氏 ※全員賛成で同意

答 中央保育所のとりの町有地に場所を確保している。面積は横18m、縦36mの648㎡

問 沖縄県介護基盤緊急整備等特別対策事業は老人施設への火災報知器の設置ということだが、6月1日から住宅の火災報知器が義務化されたが、その徹底はどういう状態か。

答 設置の呼びかけを防災無線で行っている。一昨年調べたときは設置率13.4%、去年が15%だった。今年度、最終的に何%設置率が伸びているか調べたい。

問 農業振興費の甘しょ種苗緊急対策モデル事業で、工事請負費で400万円はどういった工事か。

答 甘しょの育苗施設、ビニールハウスを字大原に予定している。管理は農協に管理委託する予定。

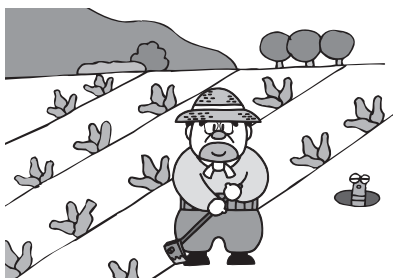


上里総功 議員

問 農産物市場開拓事業等の委託経緯は

答

販路や市場ニーズについての実績を持っている(株)風の大地と契約



上里 平成22年度予算で農産物市場開拓事業768万円、地産地消推進モデル事業、270万円が計上された。どのような実績に基づいて風の大地に委託をしたのか。また、平成23年度予算においても農産物市場開拓事業で800万円が計上され

ている。委託するのかどうか。

平良町長 今後の久米島農業を発展的に展開していくためには、町としても販路開拓や市場ニーズにあった作目の開拓については重要課題であり、風の大地はそういった実績を持っていて。平成23年度においても県との事業調整を終えて採択されており、委託契約をし、事業を進めたい。

上里 ウドンコ病にやられたカボチャを出荷し、市場評価や風の大地の経営状態は見えてこない。出荷実績だけで判断し、補助事業の垂れ流しをするのは問題ではないのか。また、農協の野菜部会との協議は。

問 鳥島射爆撃場の賃貸契約だま 議会を騙し、ウソをついたのか

答

相談の機会を無くし、申し訳ない



仲村昌慧 議員

仲村 町長は鳥島射爆撃場について、一貫して「賃貸契約条件が納得できなければ契約しない」という答弁を繰り返してきた。そして、契約時には議会に相談して判断するとしたが、3月29日に議会に相談もせず、これまでの答弁を覆して契約に同意した。町長は議会を騙し、ウソをついたことになる。議会に対してどう釈明するか。

平良町長 鳥島射爆撃場の現状を検証する協議の場を設けることで、同意した。これを踏まえて、防衛局との協議を3月下旬まで続け、

双方が譲歩して同意した。議会に相談の機会を無くしたことは、大変申し訳なく思っている。

仲村 手法として議会を裏切ったことになる。総務課長は「町長が議会を裏切ったら町長の政治生命は終わりです。」と答弁しているがどう責任をとるか。

仲村渠総務課長 責任は私にある。責任のとり方については任命権者の町長からの指示を受けて考えていきたい。

問 地域防災 危機管理体制の見直し計画は

答 災害に強い町づくりを行っていききたい

宮田 今回の東日本大震災の教訓から、全国各地において危機管理体制の見直しが注目されている。本町において、今後の危機管理体制の見直し計画について伺いたい。

平良町長 人的組織体制の強化として自主防災組織を強化する。防災計画等ソフト面では、

ハザードマップを作成するなど津波対策を中心に見直ししていく。また、施設等のハード面は、ライフライン避難所となる公共施設の耐震化や非常用電源の確保を行い、災害に強い町づくりを行って

い町づくりを行って



宮田勇 議員

きたい。

宮田 久米島は人口の大部分が海拔10メートル以内に住んでいる状況で、今回の大震災規模を考えると避難所の公共施設、民家の大半が被災することになると思うが、どのように考えているか。

仲村渠総務課長

今、町の地域防災計画では、津波の高さ3・4メートルしか想定されていないため、早急に見直しが必要だろうと考えている。



問 地域経済 各産業に震災の影響は

答 町として支援していく

翁長 ①観光において入域客が落ち込んでいますが、町として誘致活動はどう取り組んでいくか②農業について特に菊栽培農家が、被害を受けている。町としてどう対応していくか③漁業に関して影響がでているか④製造業に関して販売不振等がで



翁長学 議員

ていないか。

平良町長 ①今後の観光協会と連携しながら計画されている事業を効果的に推進していく②電照菊の価格の暴落により被害があり、県の支援対策事業と歩調を合わせて支援していく③車エビが20〜30%ほど取引量が落ち込んでいるが、その他の水産物については特に影響はでない④製造業に関しては、飲料水の需要高く製造が追いつかない。

翁長 しっかりと町として各産業を支援して欲しい。



喜久里猛 議員

問 環境衛生 アーサ虫対策を

答 生態や防除法などの調査を 依頼している

喜久里 ここ十数年シ
ンリ浜一体を中心に
アーサ虫が発生し、地
域住民、観光客に被害
を与えているが、その
対策はしているか。

平良町長 飛翔昆虫
アーサ虫はクロヌカカ
の一種と推測されてい
て、その種類や生態に
ついては、まだ一度も
調査されておらず、正
確な情報がほとんどな
いため、その防除法も
検討されていなかった。
町としての対策は、毎
年粘着シートによる虫
取りトラップを約30
0本設置しており、平
成22年度から沖縄県衛
生研究所へアーサ虫の
被害状況、生態及び防

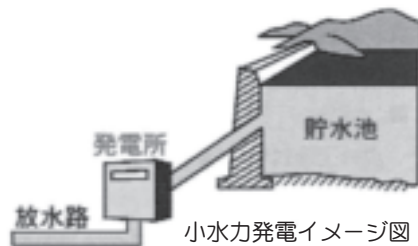
除法等を調査依頼して
いる。

喜久里 調査報告書に
よるとアーサ虫の卵の
発生場所が波打ち際で
の発生との報告がされ
ているので、完全に防
除体制ができてから始
めるのではなく、まず
はトラクターのロータ
リーで攪拌して、卵を
死滅する方法で効果が
出ると思うが。

佐久田環境保全課長
今後、更に陸側にも
範囲を広げ発生源の特
定を調査しながら、波
打ち際をロータリーで
攪拌するなど、対策を
していきたい。

問 農家の負担軽減 水力発電を採用してはどうか

答 発電の可能性を探り検討したい



小水力発電イメージ図

喜久里 農家の負担軽
減を考えるうえから、
ポンプ場の農事電力か
ら、高低差を利用した
水力発電を採用しては
どうかと思うが、その
実現性はあるか。

平良町長 沖縄県が平
成19年度に「小水力発
電事業化可能性調査」
を行なっており、久米
島では流量が安定しな
いなど事業化の実現可
能性は無いとの結果が
でている。しかし、小
水力発電技術も進化し、
小さな落差、流量でも
発電できる装置が開発
されているようである。
農家の負担軽減を図る

上でも再度、調査する
必要があると思う。

喜久里 今の技術なら
十分可能だと思うので、
発電可能性を再度調査
する必要があるのでは
ないか。

中村プロジェクト推進室長
水力発電については、
マイクロ発電、小水力
発電といろいろ規模が
あって、有効落差が3
m、水の量が毎秒0・
73mという、それ以
下でも発電可能なもの
が実際開発されている。
農家の負担軽減という
目的から、調査も含め
て可能性を探り検討し
たい。

これも質問

問 防災計画の見直しの骨子は
1年程度の期間が必要で骨子は
まだ。

問 水の島をアピールするために新
規ダムの建設を

答 現在あるダムやため池などを有
効活用し水の島をアピールするこ
とができる。

問 地域防災 計画の見直しは

答 津波対策を重点に見直す

幸地 県では東日本大震災を受け、県内41市町村のうち、8割に当たる34自治体が津波対策など地域防災計画を見直すことが分かった。現行計画では地震や台風に重点を置いた傾向があり、大津波が起こる想定はされていなかった。そこで、我が町も見直すことになっているが、まず現行計画はどうなっているか。さらに災害時における食糧の備蓄は必要の分の1%以内は確保してあるとなつているが、どの程度か、そして今後の計画はどうなっているか伺いたい。

平良町長 現行の地域防災計画では津波の浸水予測は最大で、高さ3・4メートルとなっている。東日本大震災を教訓にもっと大きな津波を想定する必要がある。これまでは津波で役場が避難する又は壊滅することは想定し



ていなかったもので、その対策も考えておく必要がある。災害時の非常用食糧として人口の5%の3日分は備蓄する必要があると考えている。



幸地良雄 議員

問 地域活性化 久米島を薬草アイランドに

答 専門家に調査研究してもらい 検討したい

幸地 久米島には自生している薬草が数多くある割に、あまり利用されていない状況だ。町はもっとそれに目を向け活用を図り、地域活性化に向けてはどうか。特に奥武島には自生した薬草が多い。奥武島を薬草園の拠点とし、バーデハウスと連動させ、そのレストラン等でハーブ料理を提供し、健康アイランドと位置づけしてはどうか。そして、久米島全体を薬草アイランドと位置づければ観光誘客にもつながると思うがどうか。

平良町長 確かに自生した薬草は多い。薬草を利活用した地域活性化については良いアイデアだと思う。これを事業化していくには、基本的な調査研究が必要であり、薬草の専門的見地から経済的に効果があるかどうか、経営的な観点から検討する必要がある。将来に向けて、薬草アイランドとしての可能性については専門家や関係者の意見を聞いて検討したい。



問 鳥島射爆撃場 潜在的汚染はないか

答 毎年1回検査し汚染はないと判断



宇江原 福島原発の300キロメートル先の神奈川県足利市において、放射線物質が飛散し、茶畑が汚染された。一方、我が久米島の状況は鳥島射爆撃場から久米島本島まで28キロメートル。鳥島に投棄された劣化ウラン弾は、500キロや25キロ爆弾が打ち込まれたことにより放射線物質が久米島本島まで飛散する事は可能だと容易に推察できる。町長は、これまでも放射線物質の潜在的汚染はないと考えるのか。

平良町長 放射線汚染ということでは科学技術



宇江原総清 議員

庁と防衛庁が毎年1回、そこを回遊している魚あるいは貝類を採って検査をしている。それで汚染はないと判断している。

宇江原 鳥島射爆撃場の劣化ウラン弾に関して、13年前の沖繩タイムス紙に、当時の琉大教授の矢ヶ崎克馬氏が半減期45億年、無害は気休めとした談話や近年登載されたブログを紹介した。

問 学力向上 漢字検定受験料の全額補助を

答 効果を精査し継続していく

宇江原 町では個性豊かで創造性、国際性に富む活力ある人材育成に取り組んでいることですが、経済格差と学校への予算措置のなさが学力格差になっているのではないかと。経済的格差等により、優れた人材の基礎となる学力が二極化していることは否めません。

宇江原 小学校の漢字検定、中学校の漢字、数学、英語検定の補助等を全額補助して頂きたい。経済的に厳しい家庭の子ども達は補助が打ち切られると受験しなくなる。子ども達に諦めない事を身につけさせるために、ぜひ実行していただきたい。

田端課長 英検、漢検の補助については回数も増やしてきている状況で、今後も今までの効果を精査しながら継続していく考え。

宇江原 学校関連の予算は、3億3122万円、町全体予算の4・8%であり、私はかなり少ないと思っっている。いずれは町の予算全体をみんなで精査して、フィンランドとかの教育水準までとはいわないが、経済的に豊かでない家庭の子ども達を補助して教育の向上に務めていただきたい。

これも質問

問 コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について

答 県と連携を図りながら進める

問 地域活性化 人口を減少させない取り組みを

答 各部署と連携して取り組む



平良義徳 議員

平良 本町では毎年人口の減少が続いており、この1年間で100人余り、約50世帯の減少となっている。減少の大きな要因は何か。

平良町長 出生数減少等の自然減や雇用の場の不足、高校や大学進学による若年層の流出等が上げられる。

平良 人口減少を阻止する方策はあるか。

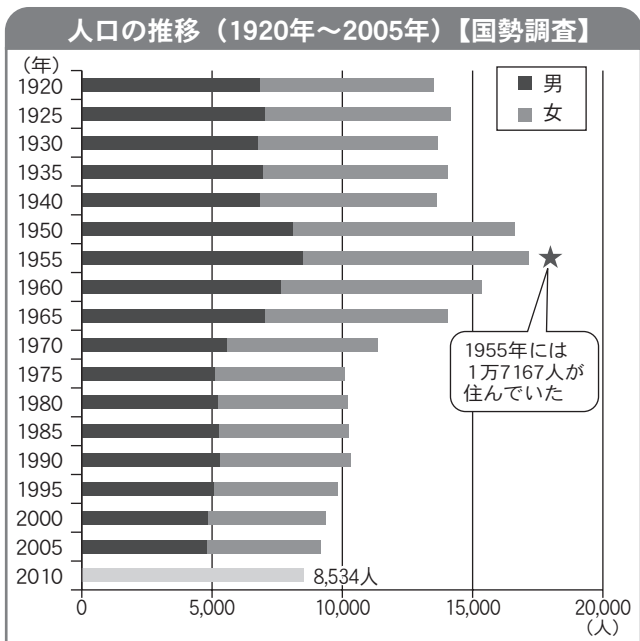
平良町長 産みやすい環境づくりとをして町独自の出産助成金の交付を行っている。

平良 人口を増やす、減少させない取り組みは行っているか。

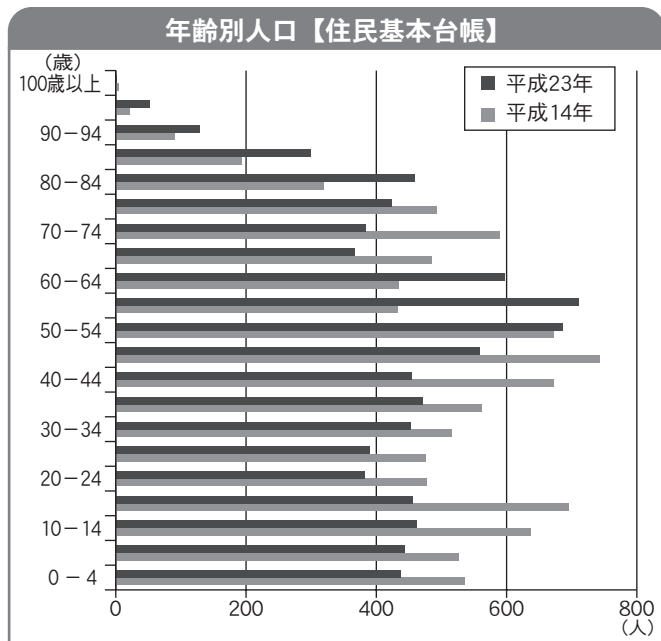
平良町長 人口流出を止め、増加させるには、

雇用の場の確保、教育、福祉等の子育て環境の充実、町の自然資源である海洋深層水の複合利用を推進した企業の誘致や関連産業の活性化を図りたいと考えている。

平良 島外への進学した若者達が何らかの資格を取得して島へ戻っても仕事に就けるよう、雇用の整備はしっかりとしていきたい。



※2010年は速報値です。



議会だよりでは紙面の都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を一部しか掲載しておりません。会議の内容を詳しく知りたい方は議会事務局へお問い合わせ下さい。

目に余る惨状に涙

東日本大震災被災地視察訪問報告

副議長 上里 総功



沖縄県町村議会議長
会（19名）で構成する、
東日本大震災被災地視
察訪問に山里議長の代
理で参加させて頂きま
した。

と云っておりまして。
大震災の復興対策に
ついては「全国の手本
になるように努力をし
て行きたい。」と述べら
れておりました。

訪問、昆議長と事務局
長の案内で、避難場所
の学校体育館と仮説住
宅を視察。体育館で避
難所の状況を目にした
ときは励ましのことは
をかけてやることも出
来ず、ただ涙が自然に
出てきました。

去されているが、建物
は基礎部分だけ残り、
工場も建物だけしか残
っていない状況でした。
被災状況は死亡者数
785人、行方不明者
数827人、避難状況
施設34か所1964人、
在宅4492人。

3月11日、日本は千
年に一度ともいわれる
未曾有の大災害に見舞
われ、連日テレビや新
聞等で報道され、災害
の状況は今なお脳裏に
焼き付いて離れません。
実際に現地を視察する
ことにより、何を学べ
るかを確認したいと
思っております。

米田事務局長は「沿
岸地域の町村は、津波
の被害を受けており、
沿岸の330kmの道路
は整備されておらず、
今回の津波災害で、今
後の道路整備が可能に
なるのではないかと期
待したい。」と話してい
ました。

その後、役場に移動
し、屋上からみた町の
状況は、がれきは片づ
けられているが、見渡
すかぎり、建物は流さ
れ基礎部分だけしか
残っていませんでした。
被災状況は7月5日
現在、死亡者数658
人、安否不明者127
人、避難者数は189
5人。

7月10日、世界遺産
に登録された中尊寺を
ボランティアガイドの
案内で視察、東北地方
では初めての世界文化
遺産であり、登録は波
及効果を広げ、震災か
ら立ち上がる東北復興
の象徴になることを期
待したいと思えます。
最後に、今回の視察
訪問で感じたことは、
今までの震災対策の見
直しが必要だとありま
すが、沖縄県において
も今後の震災は、対岸
の火事ではないと言っ
たことを再確認し、町村
においても十分な震災
の見直しが必要ではな
いかと思っております。

7月8日、岩手県町
村議会議長会を訪問し、
中崎議長と米田事務局
長による岩手県内にお
ける災害の概要につい
て説明がありました。

また、沿岸地域の人
たちも15mの防波堤が
あるために、津波に対
しての考えが甘かった
ことに気づいたことも
言っております。

大槌町に移動、城山
公園で議長、副議長、
事務局より説明があり、
大槌町では町長以下役
場職員50人超不明で、
行政機能がまひしてい
ると話していました。
城山公園から見た中
心部では、がれきは撤

中崎議長は「岩手県で
も内陸地域は被害が少
ないが、沿岸地域は壊
滅的な被害を受けまし
た。」と述べられ「国の
対応は遅い、仮設住宅
の建設が緊急の課題」

7月9日、山田町を

撤

撤